

日 薬 業 発 第 419 号
令 和 3 年 1 月 7 日

都 道 府 県 薬 務 主 管 課 長 殿

公益社団法人 日本薬剤師会
会 長 山 本 信 夫

令和2年度 日本薬剤師会 農林水産薬事薬剤師部会
動物薬事研修会の開催について(周知依頼)

拝 啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本会会務につき何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

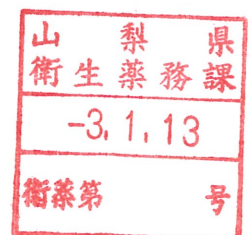
さて、本会農林水産薬事薬剤師部会では、令和2年度の動物薬事研修会を別紙の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

つきましては、貴都道府県の動物薬事関係業者等にご周知下されば幸甚に存じます。

公務ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬 具

追伸 なお、本依頼文書は、都道府県畜産主管部局 動物用医薬品担当課長宛にも通知
しておりますことを申し添えます。



**令和2年度
日本薬剤師会 農林水産薬事薬剤師部会 動物薬事研修会のご案内**

1. 趣 旨：

農林水産業及び犬・猫等の愛玩動物等に使用される農薬や動物用医薬品は、著しい進歩を遂げており、近年その使用による畜水産物への残留や、輸入食品の急増等により、人の健康を損なう危険が増大し、公衆衛生上だけでなく国民の強い要請からも安全性の確保が最重要であることが認識されております。農薬や動物用医薬品の安全性を確保するためには、適正な製造、流通、販売、使用等が日々行われなければなりません。

本研修会では、動物薬事に携わる薬剤師等を対象に、動物用医薬品の関係法令、畜水産物を生産する家畜等の疾病と薬剤等について研修を行うことにより、畜水産物の安全な供給等に寄与し、国民の健康な生活を確保することを目指しております。

2. 主 催：公益社団法人 日本薬剤師会**3. 開催日時：**令和3年2月19日（金） 13:00～16:30**4. 開催形式：**【Web開催】 ※Zoom ウェビナーを使用いたします。**5. 講師並びに演題（予定）：**

1) 「動物薬事をめぐる最近の動き及び動物薬事関連法規・制度について」（仮題）

農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課 課長補佐（薬事監視指導班担当） 関口 秀人 氏

2) 「動物とヒトのコロナウイルス感染症について」（仮題）

北里大学 名誉教授 宝達 勉 氏

3) 「抗菌性物質と薬剤耐性」（仮題）

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門
疾病対策部長 勝田 賢 氏

※講師、演題及び講演順序等は変更されることがあります。

6. 受講料： 5,000円

お申込みの際に、クレジットカード決済にてお支払いください。決済完了をもって参加受付といたします。
なお、領収書はWeb上での発行となり、紙での発行は致しません。

7. 受講申込み： 本会ホームページ(<https://www.nichiyaku.or.jp/>)内の「学術大会・研修会」>「研修会」>「日薬主催研修会」>「令和2年度 農林水産薬事薬剤師部会動物薬事研修会」より、参加を受け付けます。**8. 申込み締め切り：** 令和3年2月8日（月）

定員に達した場合は、締切日前でも、申込み受付を終了いたしますので、ご了承ください。

9. 受講方法：

WEB上で受講することができます。「7. 受講申込み」の完了後に、申込時にご登録いただいたメールアドレス宛に、受講のためのURLをお送りします。研修会当日は、そのURLにアクセスいただき、ページ右上の「My Pageにログイン」ボタンからマイページにログインのうえ、受講ください。

※受講に使用されるパソコン等の機器について、Zoomがインストールされていない場合には、予め講演開始前までにインストールいただけますようお願いいたします。

10. 講演資料：

講演中の画面上でスライドをご覧いただけます。また、配布資料を、Web上に事前にアップロードする形でデータにて提供いたします。研修会テキスト、修了証の印刷資料のご用意はありませんのでご了承ください。

11. 問い合わせ先：

日本薬剤師会「動物薬事研修会係」（担当 学術業務課）

〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 TEL：03-3353-1170 / FAX：03-3353-6270

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の研修受講シールについては、研修会で主催者から示すキーワードの報告などの受講確認要件を満たした場合に後日郵送いたします。受講確認要件に関する詳細は、お申し込み後に追ってご案内いたします。